

日蓮大聖人御書全集

こんろしこごしよ

根露枝枯御書

新版
2155

こんろ しごごしよ

根露枝枯御書

さんろんしゅう

ふんみょう

しょうもん

た

三論宗も、分明ならざる証文をもつて立てたりしかば、

もうもく

しゅじょう

あ

おうわく

みょうげん

ちしや

あ

盲目の衆生に値つて誑惑せしかども、明眼の智者に値つ

じゃぎあらわ

すなわ

ねあらわ

えだか

みなもとかわ

て邪義顕れぬ。これ即ち「根露るれば枝枯れ、源乾け

なが

つ

じねん

どうり

ねんぶつしゅう

ぜんしゅう

しんごん

ば流れ竭く、自然の道理なり。念仏宗・禅宗と真言とは、

こんぽん

みようご

もと

おうわく

みなもと

こんげんあらわ

その根本、謬誤を本とし、誑惑を源とせり。その根源顕

にちれん

卑

てん

計

だいほう

れなば、たとい日蓮はいやしくとも、天のはからい、大法

るふ

とききた

か

あくほう

破

しんじつ

ほうた

流布の時来るならば、彼の悪法やぶれてこの真実の法立つ

うたが

こと疑いなかるべし。

あくほうき

すでにこの悪法消えんとするは、汝、知るやいなや。日蓮

なんじ

し

否

にちれん

卑

散

々

をいやしみて、さんざんとするほどに、するほどに。